

1. 山形市 2. 新潟市 3. 秋田市 4. 長野市

1. 交通の利便性が向上したことにより、地方から東京へ人口が集中する「ストロー現象」が解消された。
2. 新幹線開通と同時に並行する在来線の運行本数が増加し、地域住民の日常的な利便性が飛躍的に向上した。
3. 新幹線の整備によって運賃が大幅に低下したため、自家用車や高速バスを利用する人がいなくなった。
4. 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。

1. 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。

2. 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。

3. 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。

4. 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。

1. 自動車などの輸送用機械の製造が極めて盛んであり、関連する部品工場なども含めた広範な産業ピラミッドが形成されている。

2. 製鉄所や石油化学コンビナートが臨海部に集中しており、金属や化学などの基礎素材産業の出荷額が全体の過半数を占めている。

3. 内陸部での電子部品や電気機械の製造が中心であり、近年は高速道路網の整備により輸送用機械の出荷額を上回る成長を見せている。

4. 古くからの繊維工業の伝統を活かし、現在は高機能な新素材や衣類などの軽工業製品が工業出荷額の大きな割合を占めている。

熊本県公立入試 類似)

1. ピーマン 2. キャベツ 3. たまねぎ 4. レタス

1. 年間を通じて降水量が少なく、気温の年較差が大きいため、ブドウや桃などの果樹栽培が中心である。

2. 冬でも温暖な気候を活かして、キャベツなどの野菜の促成栽培が盛んに行われている。

3. 平地が少ないため、扇状地を利用して茶やミカンの栽培が大規模に行われている。

4. 冬の豊富な降雪が春の豊かな雪解け水となり、それを利用した大規模な稲作が行われている。

1. 冬の積雪を水源として利用し、広大な平野で大規模な稲作が行われている。	2. 年間を通じて降水量が少なく日照時間が長いため、山の斜面を利用してミカンなどの果樹栽培が行われている。	3. 夏でも涼しい高原の気候を利用して、レタスやキャベツなどの野菜を夏から秋に出荷する抑制栽培が行われている。	4. 冬の温暖な気候を活かして、他の地域よりも早く出荷する促成栽培が盛んに行われている。
---------------------------------------	---	---	--

徳島県公立入試 類似)

1. 新潟県 2. 三重県 3. 愛知県 4. 静岡県

1. 標高の低い山々が連なっているため、大陸からの乾いた冷たい風が遮られることなく吹き込み、地表の水分を凍らせる。
2. 暖流である黒潮の影響で水蒸気が大量に発生し、それが大陸からの冷たい空と混ざり合うことで山沿いに雪を降らせる。
3. 太平洋側から吹く湿った季節風が、日本アルプスを越える際に冷却され、日本海側の平野部に大量の雪をもたらす。
4. 湿った北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、県中央部を南北に走る飛騨山脈にぶつかすることで雪を降らせる。

1. 奥羽山脈は、中部地方を南北に縦断しており、北陸新幹線のトンネル建設において最大の難所となった。
2. 赤石山脈は、北陸新幹線の沿線に位置し、関東地方と中部地方を分ける脊梁山脈として機能している。
3. 飛騨山脈は、新潟・富山・岐阜・長野の県境付近に位置する峻険な山脈であり、北アルプスと呼ばれている。
4. 木曽山脈は、福井県から石川県にかけての海岸線に沿って広がる山脈であり、北陸地方の気候に影響を与えている。

(2024年 静岡県公立入試 類似)

1. 広大な平野を活用した大規模農業が展開され、出荷額のほとんどを農産物の加工品が占めているため

2. 電子部品の製造に必要な清浄な水や空気が確保しやすく、伝統産業で培われた技術が機械工業に応用されたため

3. 太平洋ベルトの臨海部に位置し、海外から輸入した原油や鉄鉱石を加工する重化学工業が発達したため

4. 大規模な自動車工場が集積しており、その関連部品を供給する輸送用機械器具製造業が中心となっているため

1. せんい工業 2. 石油化学工業 3. 重化学工業 4. 精密機械工業

答え合わせ・解説

問1	答え 2 新潟市	信濃川の河口に形成されたこの都市は、背後に広がる越後平野の豊かな米作地帯を支える拠点となってきました。大規模な市町村合併を経て人口要件を満たし、地方自治法に基づき大きな権限を持つ政令指定都市となりました。選択肢の秋田市、山形市、長野市はいずれも県庁所在地ですが、政令指定都市ではありません。
問2	答え 4 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。	北陸新幹線の延伸により、首都圏と北陸地方を結ぶ鉄道の所要時間が大幅に短縮されました。これにより、金沢駅を中心とした観光地へのアクセスが向上し、交流人口の増加や観光消費による経済効果がもたらされました。一方で、新幹線の運賃は安価になるわけではなく、また大都市へ人や経済が吸い寄せられる「ストロー現象」や、並行在来線の経営分離といった課題も存在します。
問3	答え 1 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。	北陸地方の稲作において、冬の降雪は「天然のダム」としての役割を果たします。山地に積もった大量の雪が春から初夏にかけて徐々に溶け出すことで、田植えの時期に必要な大量の水を安定して供給することができます。この雪解け水という安定した水源があることが、北陸地方で単作（年1回の稲作）による大規模な米作りが発展した背景にあります。
問4	答え 1 自動車などの輸送用機械の製造が極めて盛んであり、関連する部品工場なども含めた広範な産業ピラミッドが形成されている。	中京工業地帯の強みは、完成車メーカーだけでなく、膨大な数の部品メーカーが同じ地域に集積していることにあります。この効率的な生産体制（ジャストインタイム方式など）によって、工業出荷額に占める輸送用機械の割合が非常に高い、世界有数の自動車工業地帯としての地位を確立しています。
問5	答え 4 レタス	長野県、茨城県、群馬県が生産量の上位を占めるこの農産物はレタスです。長野県では、標高の高い高原地帯の冷涼な気候をいかした高冷地農業が盛んで、主に夏から秋にかけて収穫されます。一方、茨城県は冬から春にかけての出荷が多く、産地がリレーのように時期をずらして出荷することで、年間を通じて食卓に届けられています。紛らわしいキャベツは、群馬県が夏から秋にかけての主要な産地ですが、統計上の順位や長野県の圧倒的なシェアからレタスと判断します。
問6	答え 4 冬の豊富な降雪が春の豊かな雪解け水となり、それを利用した大規模な稲作が行われている。	北陸地方は、冬に北西から吹く湿った季節風の影響で世界的な多雪地帯となります。春に溶け出す大量の雪解け水は、稲作に必要な灌漑用水として古くから活用されてきました。このため、新潟県の越後平野などの広大な平野では、日本を代表する稲作地帯が形成されています。他の選択肢にある「促成栽培」は高知県や宮崎県、「果樹栽培」は中央高地（山梨県など）、「茶やミカン」は静岡県などの東海地方の特色です。
問7	答え 3 夏でも涼しい高原の気候を利用して、レタスやキャベツなどの野菜を夏から秋に出荷する抑制栽培が行われている。	中央高地の長野県や群馬県の高原地帯では、標高が高く夏でも涼しいという気候を活かし、他の地域では生産が難しい夏から秋にかけてレタス、キャベツ、ハクサイなどを栽培しています。これを「抑制栽培」と呼び、都市部の需要が高まる時期に出荷することで高い収益を上げています。冬の寒さが厳しく氷点下になる中央高地では、温暖な気候を利用する促成栽培やミカン栽培は適していません。
問8	答え 4 静岡県	静岡県は浜松市のオートバイや楽器、富士市の製紙、御殿場市や裾野市の自動車関連工場など、製造品出荷額が全国でもトップクラスです。また、農業面では牧之原台地の茶が有名ですが、沿岸部ではキャベツなどの野菜の収穫量も多く、工業と農業の両面で高い生産性を誇っています。愛知県も似た傾向にありますが、大学数や自動車への特化度で区別されます。
問9	答え 4 湿った北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、県中央部を南北に走る飛騨山脈にぶつかって雪を降らせる。	富山県は日本海側の気候に属しています。冬になるとシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、対馬海流（暖流）の影響で蒸気（水分）を蓄えた日本海を渡ってきます。この湿った空気が、飛騨山脈（北アルプス）などの高い山々にぶつかって上昇することで雪雲が発達し、山脈の西側にあたる地域に多くの雪を降らせます。
問10	答え 3 飛騨山脈は、新潟・富山・岐阜・長野の県境付近に位置する峻険な山脈であり、北アルプスと呼ばれている。	中部地方の地形は、中央部の高い山々とそこから流れる河川によって形成されており、特に飛騨山脈は北陸地方と内陸の信州（長野県）を隔てる大きな壁となってきました。この山脈は「北アルプス」と呼ばれ、北陸新幹線はこの山脈を迂回、あるいはトンネルによって貫くことで、首都圏と北陸地方の移動時間を大幅に短縮しました。赤石山脈は「南アルプス」であり、奥羽山脈は東北地方に位置します。また、木曽山脈は「中央アルプス」と呼ばれ、飛騨山脈よりも南側に位置しています。
問11	答え 2 電子部品の製造に必要な清浄な水や空気が確保しやすく、伝統産業で培われた技術が機械工業に応用されたため	石川県では、輪島塗や九谷焼といった伝統工芸で培われた「ものづくり」の精神や技術が、精密機械や電子部品の分野に応用されてきました。電子部品の製造には高度な技術と清浄な環境（水・空気）が求められるため、北陸の豊かな自然環境が産業の発展を支えています。愛知県のような輸送用機械への過度な集中が見られない点が、統計上の大きな特徴です。
問12	答え 4 精密機械工業	諏訪盆地は、かつて製糸業が盛んな地域でしたが、戦時中に大都市から工場が疎開してきたことや、製品が小型・軽量で輸送費の負担が少ないこと、さらに高度な技術を持つ労働力が確保しやすかったことから、時計やカメラなどの製造が主力となりました。この地域は、その発展の様子から「東洋のスイス」とも呼ばれました。